◆教育目標 ◎やりぬく子 ◎考える子 ○思いやる子 ○元気な子

★目指す学校像・「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念の実現を目指す学校・常に改革の意識をもち、直面する課題を正面から受け止め、課題解決に邁進する熱意にあふれた学校

★特色ある教育活動・校内研究「未来社会を創造的にする子どもの育成」~「未来創造プログラム」作成のためのカリキュラム・マネジメントを通して~
・国際理解教育・放課後算数クラブ・土曜算数クラブ・読書タイム・完全ノーチャイム・25分間の休み時間・たてわり班活動・洗小江戸しぐさ・夏休みわくわくスクール・学校支援地域本部(スクールサポート洗足池)

○自	自己評価及び学校 _{目標}	交関係者評価の結果の概要と改善策 _{取組内容}	目標に対する成果指標	成果	果 これまでの取組		学校関係者記入欄
プ	口保	収組内容 外国語教育指導員を効果的に活用し、外	日標に対する以来指標 12月に実施する保護 4: 者アンケート項目「望ま 95%	評価	画 今後の改善策 今後の改善策 ○ 「未来社会を創造的に生きる子どもの育成~教科横断的な	評価	コメント ・総合的な学習では、様々なことを考え、学びにつながり、子供たちの意欲向上につ
ラン1 未来社会を創造的に生	コシ情力きれ会し応の身す。ユン活も等のなかのなす力に、から変わると付けいいでいるとはは、社ににど信ました。	国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている	しい人間関係を築ける ようにしている」の肯定 的回答の割合	上	視点を中心としたカリキュラム・マネジメントの推進~」を研究主題として設定し、他教科で身に付けた資質・能力を総合的な学習の時間や生活科で意図的に活用させることで、子供の「分かった」や「ひらめき」が増えるのではないか、という研究仮説のもと、研究を進めている。重点的に身に付けさせたい、資質・能力を目標にした国語科の単元をピックアップし、指導	A 4	ながっているのを感じます。 ・なわとびタイム、持久走タイムの設定も体力向上につながり、運動会でも十分に成果が発揮されていました。 ・学習授業だけではなく、いろいろな体験活動(町探検、留学生との交流等)を実施し、児童の知的好奇心を伸ばして社会のことを広く知る機会を与えるよい取り組みであると思う。 ・英語教育では年2回東工大を訪問し留学生と英語でコミュニケーションをとってい
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、I CT機器を活用した授業を実施する。	以上	上	時期や配列を整えて単元配列表を作成した。12月には研究 発表会を行った。 〇全校児童が東京工業大学留学生と交流した。外国語教育 指導員を効果的に活用し、自己紹介や学校紹介、ゲームなど	В	る。 ・PC教育では低学年でタッチペンやローマ字入力、中学年では画面分割など応用的な学習をしている。 ・70周年記念展覧会では版画を通じて日本史を、海のモチーフを通して理科や和紙工芸を学べていた。多摩地域の廃材の木材を活用する体験活動がみられたし、家庭
			2: 75: 以上	5%	を通して生きた英語を使ったコミュニケーションを行うことがで きた。 〇「一校一取組」として体力向上を目指し、なわとびタイムや 持久走タイムを設定した。朝会や休み時間、授業などで全校 で取り組み、体力向上や記録向上を目指している。	С	科ではミシンをうまく使いこなしていた。 ・「分かった」や「ひらめき」が増えることは、児童がより一層、学習に取り組む意欲につながるきっかけとなると思われる。また、留学生との生きた英語を使ったコミュニケーションを図る機会があることは、児童にとって、様々な考え方、表現の仕方を学ぶことにもなり、これからの社会に対応する力を着実に身に付けていると考えられ、今
き		体カテストの結果を踏まえ体力向上全体 計画を作成し、計画に基づいた体育指導 や「一校一取組」連動や「一学級一実践」 運動を実践する。	1: 75% 以7		〇体カテストの記録を毎年学校保管(キャリアパスポートファ イル内に)することで、昨年度からの記録の伸びを児童自らが 確かめ、体力向上への意欲を高めたり、成長を感じられたり できるようにしている。	D	後も継続的な取組みを期待する。 - ・研究発表会の資料を見て、話すこと聞くことの大切さ、また伝えるときの工夫や自分の考えをもつことを様々な体験を通して学習していることがよく分かりました。 ・体力向上についても、限られたスペースで学年ごとに時間を分けるなどして、思い切り体を動かせる環境を作っていてよいと思いました。
の育		各教科を通してコミュニケーション能力の 育成を目指して指導の工夫を行い、言語 活動の充実を図る。					
プラン2 学力の向上	児童・生徒一学 の意欲をないる。 のかまで で定 が、を定 がます。	ついて、指導する。	12月に実施する保護 者アンケート項目「学習 したことを理解してい る」の肯定的回答の割 合	5% 上	〇大田区学習効果測定(4年生以上)の結果をもとに、個人面談で学習の達成度や今後の学習方法などについて保護者と確認を行った。 〇1年生から6年生までの全学年において、習熟度別による少人数算数授業を展開し、きめ細かい指導で確実	A 4	・主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりの実践ということで、授業を参観させていただいた際に、とてもいい授業を感じました。 ・タブレット等IT機器に小学生のころから慣れ親しむことは、これからの社会では必須なことであろう。 ・ 文席児童が1名であっても先生は的確なタイミングでリモート画面のほうも向き合い 丁寧に授業していた。
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3: 85 ⁶ 以上	5%	な定着を図った。また、タブレット端末を使って、算数ス テップ学習に取り組み、児童一人一人の学習行動、到達 度を定期的に確認し、夏の個人面談を通じて進捗状況	В	・学級閉鎖でも担任の先生がハンドカメラにPC3台を駆使し家庭で授業を受ける子たちが楽しめるようにしていた。 ・一年生の音楽では全員歌詞を暗唱して歌っていた。 ・四年生の国語ではPC化社会で混乱しがちな同音異義語を指導していた。どの学年
			2: 75 ⁶ 以上	5%	〇学期に1度全教員に授業観察を義務付け、主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりの実践を行った。授業改善の視点を明らかにして、授業のフィードバッ と ・少人数による算数授業は、低学年からそれぞれの	 ◆静かに集中して学習していた。 ・全学年において、習熟度別による少人数算数授業を展開し、一人ひとりきめ細かい指導を行うことは、誰一人取り残すことなく、学ぶ意欲の向上、確かな学力の定着に努めていると感じる。 ・少人数による算数授業は、低学年からそれぞれの理解度に寄り添う指導にきめ細 	
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	1:			かさと子供たちの学習意欲につながると感じました。また、タブレット端末を使っての	
		主体的・対話的で深い学びにつながる授 業づくりを工夫する。	754 以T			D	
プラン3 豊かな心の育成	とりの正義感 や自己肯定 感、自己有用 感などを高め るとともに、 自他の生命	指導の充実により、社会のルールや学校	11月に実施する児童 4: の学習・生活アンケート 924 の項目「毎日学校で生 以上 活することが楽しい」の 肯定的回答の割合	2%	〇自己肯定感を高める工夫や互いを認め合う学級集団 づくり、いじめの早期発見・早期対応の徹底、不登校児 童に対するきめ細やかな対応、生命尊重週間における 企画委員児童によるスローガン(洗小ニコニコ平和宣	A 4	・自己肯定感を高めることは、保育園よりとても大事な点です。 ・地域全体で、子どもたちの健やかな成長の手助け、責任をもって関わっていきたいです。 ・授業参観で感心したのは、教師が一方的に教えるのではなく、児童に考えていることを発言させ、皆と様々な意見交換をするのは自己肯定感や互いを認め合うというた
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、 国、都及び区の資料を活用した授業等を 行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3: 80 ⁰ 以上	0%	言)作成などの取組みを行ってきた。 〇道徳教育推進教師による校内研修を実施した。 〇中学校やPTAと連携した「洗小のきまり」の作成によ		めによい教育方法だと思う。 - ・ユニバーサルデザインが定着している。体育館で行われた70周年記念展覧会では 舞台中央に5組(特別支援学級)児童が作成した巨大なこきちくん(70周年キャラク ター)作品を配しており、5組の個人作品も会場中央にディスプレイしてあった。
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の 結果よりストレス症状のみられる児童・生 徒に対して組織的に対応する。	2:		指導にあたれるようにしている。 〇各学期に1回は「気持ちの良い挨拶」を生活目標として設定したり、環境委員会児童による挨拶当番を実施し ***********************************	В	 ・どの学年の授業も、どのような発言も皆が真剣に聞いており、けっして友達の意茶化したり笑ったりしないことに感心した。 ・挨拶は社会生活を営むにあたって、重要な要素であると感じるが、定期的な挨動の取り組みは児童に挨拶の重要性を気付かせる上で、特に大切なことである一う。また、他委員会の企画など児童が率先して様々な取り組みにあたっているこ。
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を 実施する。	7.0° 以上	3 3		児童の自己肯定感を高めることにつながっていると感じる。 ・朝、校門の所で委員の児童が登校してきた児童たちに元気よく挨拶している姿を見かけたことがあり、とても気持ちよく感じました。子供同士ではより自然と挨拶が出てくるように思いました。	
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・ 生徒に関するケース会議等を実施する。	1: 700 未沫				
		子どもたち一人一人が誰にでも明るく、元気に挨拶ができるよう指導を工夫する。	12月に実施する保護 4:		○6月と10月に行った「早寝・早起き・朝ごはん」の取組		・生活習慣は家庭の協力がとても大事ですね。新型コロナウィルス5類化になり、でき
プラン4 体力の	成や、運動習慣の定着による体力の 向上など、生		方法を身に付けさせて いる」の肯定的回答の 割合 3:		みでは、児童に望ましい生活習慣が確立できるよう、家庭に協力を仰いだ。 〇「体育・健康教育授業地区公開講座」では、食育に焦	3	るようになった今、体力向上等に向けても、改革のチャンスだと思います。 ・洗足池公園への徒歩遠足で脚力を強化している。 ・低学年で背筋をびしっと伸ばす姿勢が全員身についている。 「運動会では女子も応援団で活躍したりダンスもきびきびしていた。徒競走では今ど
		和民相等及び教科等における相等を通じて、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	80 以上 2:	上 3	近な「食」を中心に講演をしていただいた。 〇休み時間は、学年ごとに遊び場所を分けることで、児童が思い切り体を動かせるように工夫している。また、体育朝会を年に3回実施し、体育主任や運動委員会児童が楽しい運動を紹介し、児童の運動習慣の確立を目指している。	1	「見たのが初めてだった。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」といった生活習慣の確立を促すことは、体力づくりをはじ め、児童の健全育成につながるものであると感じられるため、今後も家庭との協力を 得つつ続けていただきたいと思った。
向上と健		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。 オリンピック・パラリンピック教育において、	70 以上 1: 70	上		・「食」への理解を深めたり、運動習慣を確立することなど、生活面への取り組みも充	
康の		体験や交流活動を取り入れ、重点的に育成すべき5つの資質を育てる。	未清	満			
8る教育環境づくり プラン6 学校・家庭・	学送教力質境す 学地役確に教をす互校る員向なを。 校域割に開育目。の生たの上教つ・がなしかの指た連活的指と育り をに導良環ま	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	学校公開日の保護者ア 4: ンケートで「分かりやす 60 い業業をしている」「活動が充実している」の2項目のA評価)% 上	○授業公開日の保護者評価を分析し授業改善に生かしている。 ○全教員が年に2回以上、他校の研究授業に出席し、 先進的な教育や指導法を学び、自身の授業改善に生か	A 3	・図書館では1年に17,000冊の本を貸し出したり、蔵書も豊富に取り揃えてある。 ・運動会でも昔遊び会でも必ず多くの先生がしっかり子供たちの安全に気を配っている。 ・5組(特別支援学級)体育の授業は児童全員がとても楽しそうに運動していた。 ・全教員が他校の教育や指導法を学び、授業改善に活かしていることやOJT研修を
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、 主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を 実施しOJTを充実させる。	3: 55 ⁶ 以上	5%	す努力をしている。 〇校内委員会を月1回以上、定期的、計画的に実施している。様々な課題を抱える児童について、課題があるときはすぐに委員会を開き、関係諸機関とも連携して課題	B 1	- 実施し、教員同士で指導力向上を図っており、良質な教育環境の構築に努めていると感じる。 ・・ 生生方がOJT研修や研究授業への出席など、常に指導力向上に努力されていると感じました。 ・・ 保護者アンケートでの声を授業に生かしているということに、先生方は子供たちによ
		各種研究発表会等の研究・研修の成果 を、自身の授業改善に生かす。	2: 50 ⁰ 以上	0%		りよい学びの環境作りをされているのだと思いました。	
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。 経験年数・職層の異なる教員のペアを組	1: 50°	0%	り組むメンターシップ研修や、経験豊富な教員が若手の教員に指導技術や校務分掌について指導するスキルアップ研修を実施し、教員の指導力向上を図っている。		
		経験千致・戦階の異なる教員のハケを組 み、メンターシップ研修を行うことで、メン ティーは学習指導力を、メンターは指導・助 言の能力を高める。 教育目標・学校経営方針・学校評価等の	12月に実施する保護 4:		して以たのグですすためがと母ハル ム・ ノに文がし」 「流流」によってる調道に	・学校だよりでは、写真も多く掲載されとても分かりやすく、内容も充実していました。	
		基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒	者アンケート項目「教育 95%活動に地域の力を生か 以上している」の肯定的回答の割合	上	たり、学校生活での様子を月に2回のペースでホームページで公開したりして積極的に情報を発信している。 〇学校だよりの充実を図るために、紙面に写真を複数 掲載したり、地域の方の目に留まる工夫や内容を盛り込	A 4	・地域では東工大の留学生等との交流もでき、人種や言語の違い等を理解し、国際感覚を身に付けることができるとともに、洗足池や呑川など自然とも触れ合う環境があり、地域と一体となって進める教育が可能な環境だと思う。 ・千束地区青少対策委員会に対しては一年を通じてカレー作りや映画会、手作り・木工教室などに洗足池小児童に参加していただいている。
		の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地	3: 904		んだりした。 〇学校支援地域本部の方が1~3年生の全学級で本の 読み聞かせを定期的に行ったり、呑川の会、地域の商 店、各分野の専門家などの外部の人的資源を積極的に 活用し連携して授業を行ったりして、地域の力を教育活 動に生かしている。 〇東京工業大学留学生との交流では、留学生による出	▶・学校だよりは、当月のトピックスや写真、また「洗小江戸しぐさ」といった誌面を読みたいと思	
		域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	2: 80 ⁰ 以上	0%		わせる項目が多々あり、いつも楽しみにしている。また、紙面の他、地域力推進千束地区委員会や各種行事の場においても、地域の方々へ、学校の状況等をお知らせいただいており、地域に開かれた学校を目指されていると常に感じている。 ・ホームページで学校の様子を紹介してもらえるのは、地域の人など学校外の人にも目にとまりやすくてよいです。	
教域育が一	深め、子ども を育てる仕組 みを作りま す。	東京工業大学・地域と連携した教育活動を充実させる。	1: 70 ⁰ 以上	0%	身国についてのプレゼンテーションを聞くことができ、英語によるコミュニケーションカの向上だけでなく、国際社会理解や異文化理解につながる充実した教育活動を行		・東工大留学生との交流、
体と					うことができた。	D	